Unity Physics Training Introduction to MOSAIQ

第3版:2021/9/27



改訂履歴

- 第1版から第2版(2021/7/7): 資料体裁の整えました。
- 第2版から第3版(2021/9/27):一部文言の表現を変更しました。



Objectives

- MOSAIQの設定と、各種機器との連携を理解する

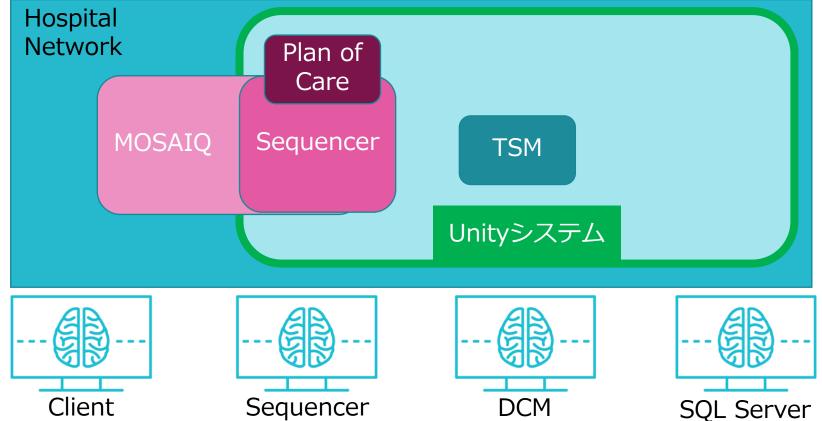




Lesson Objectives

3 | Focus where it matters

MOSAIQ Structure



- MOSAIQは、Unityシステムの内部と外部の両方に存在
- 全体として、MOSAIQは 複数のコンピューターに 分散された複数のサブシ ステムで構成されている



MOSAIQ Structure

- ・Clientは病院ネットワーク上に存在する
- 患者の登録、計画のインポート、データ管理などに使用 される



- SequencerはUnityシステム内に存在する
- Clientと同じ機能だが、Unity Linacに接続する機能が 追加されている



- DCMはMOSAIQのDICOMレシーバー
- MonacoからエクスポートされたDICOM RT Planは DCMを介してインポート(Promote)される

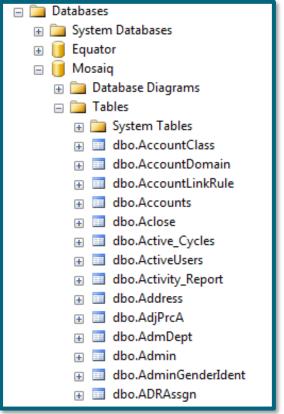




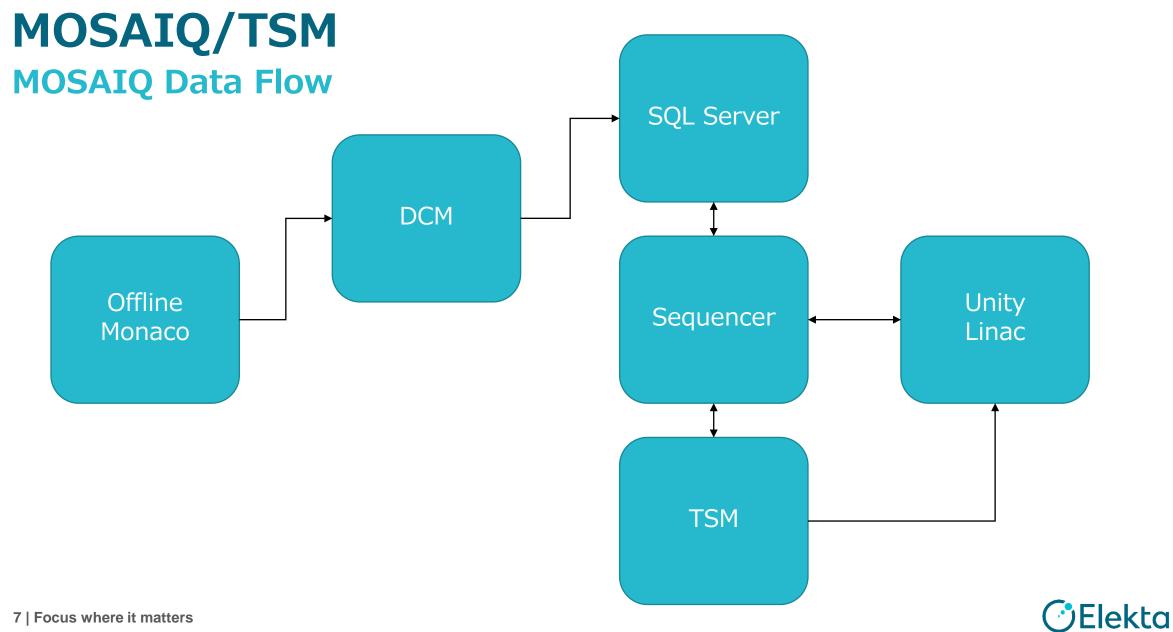
MOSAIQ Structure

- SQL Serverは独自のサーバーにインストール される
 - 登録されたすべての患者情報を保存するデータベース
 - Charts
 - Reports
 - Demographics
 - Plans
 - Diagnosis









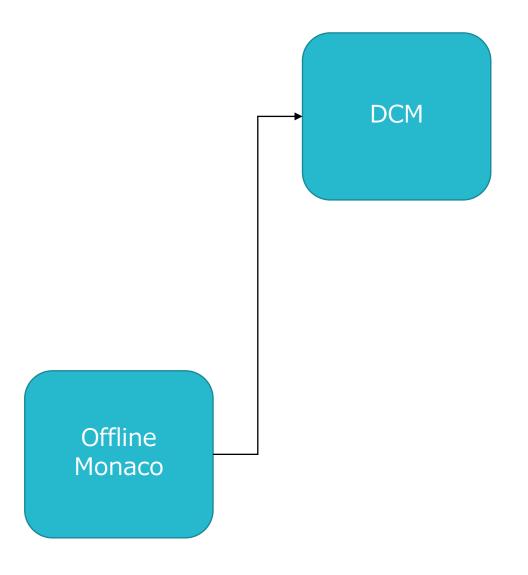
MOSAIQ/TSM **MOSAIQ Data Flow** SQL Server DCM Unity Offline Sequencer Monaco Linac TSM

Elekta

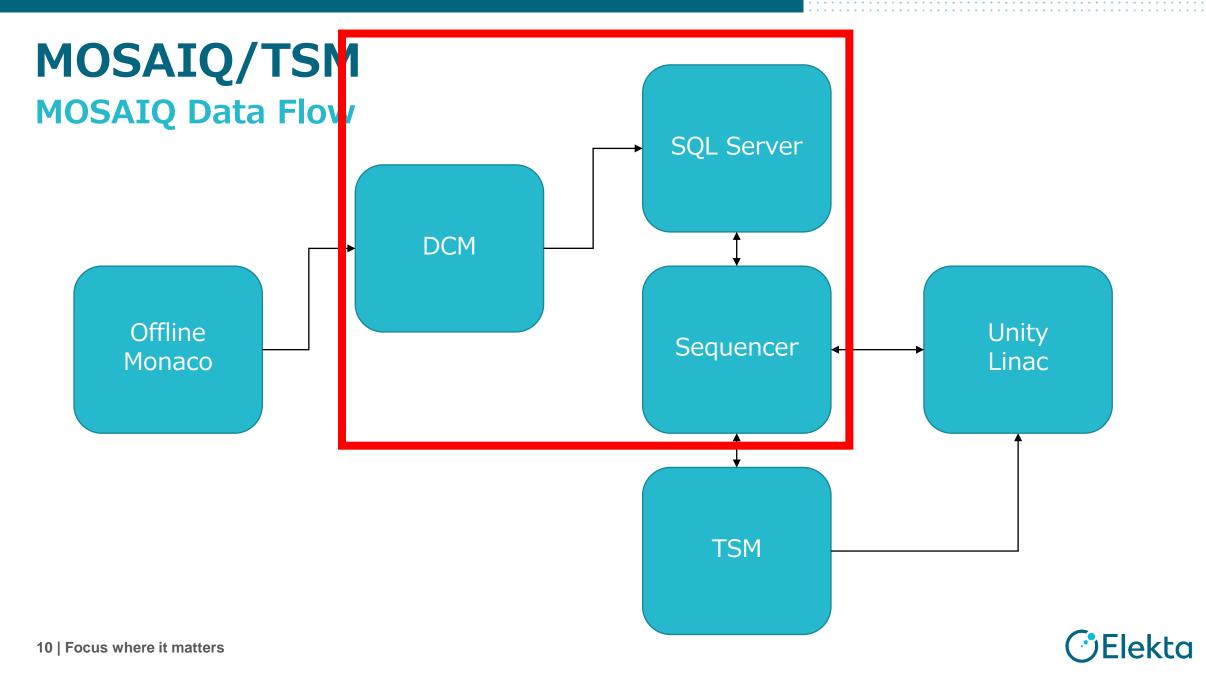
MOSAIQ Data Flow

From Monaco to DCM:

- MOSAIQのDICOMレシーバー
 - DICOM Communications Module
 - データを送受信するには起動しておく







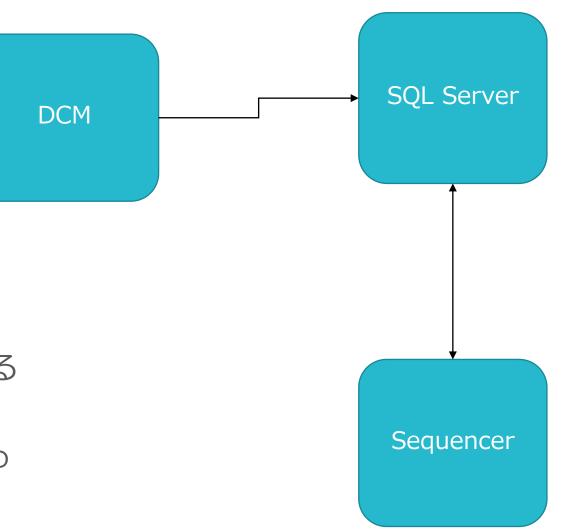
MOSAIQ Data Flow

From DCM to Sequencer and SQL Server

- DICOM RT Planは .RTPファイルに変換される
- ClientやSequencerでの変更は、SQLデータ ベース内に反映される
- Studyset UIDは、SQL Serverのテーブル内に 格納される

以下に問題があるとエラーが表示される

- 患者様が登録されていない
- 患者様の氏名、IDが異なる
- 患者様が異なるにも関わらず同一のStudyset UID

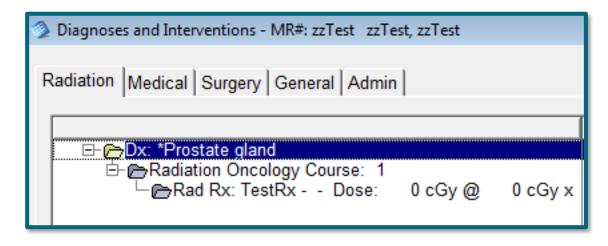


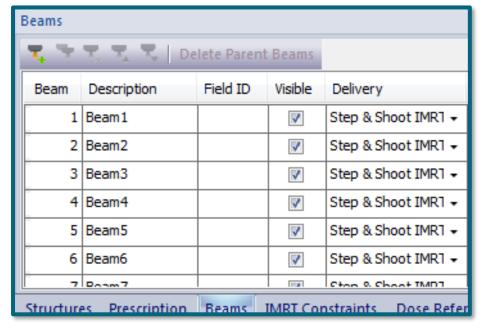


MOSAIQ Data Flow

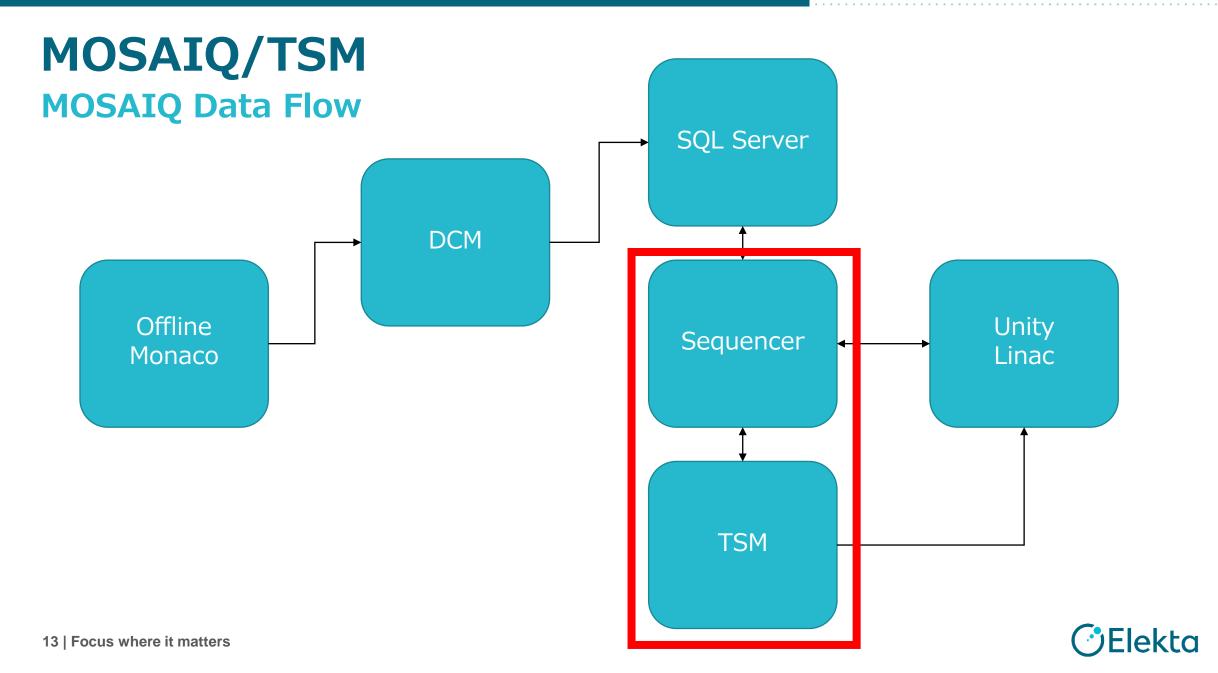
Planについて:

- MonacoからエクスポートされたPlanを Promoteする際に以下を決定する
 - MOSAIQと一致するCourse ID
 - MOSAIQで運用されるRadRx
 - UniqueなField ID





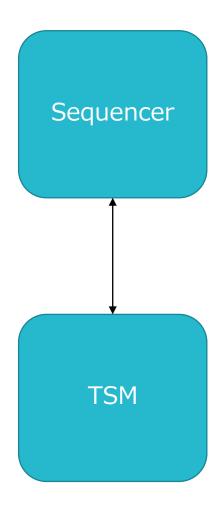




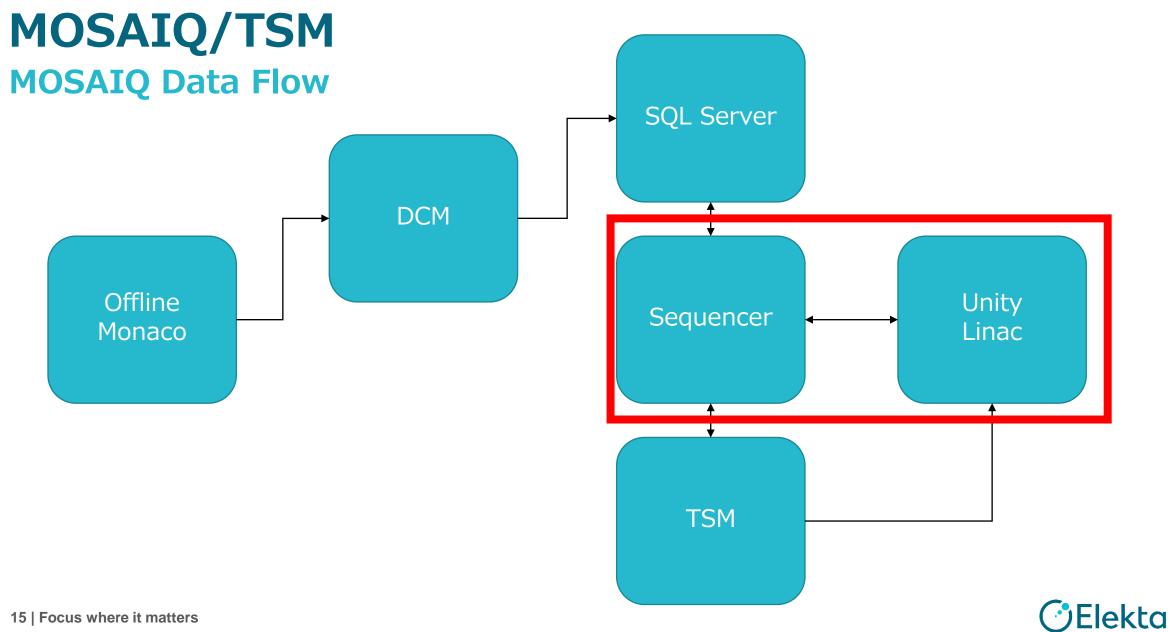
MOSAIQ Data Flow

From Sequencer to TSM:

• TSMはMOSAIQデータベースを使用して、Marlin MRI、 Online Monaco、およびUnity Linacに情報を送信できる ように中継役を担っている







MOSAIQ Data Flow

From Sequencer to Unity Linac:

- Sequencerは、iCOMプロトコルを使用してUnity LinacのNon-Real Time Computer (NRT)と通信する
 - データはiCOM-FXを使用して送信される
 - 照射情報はiCOM-VXを使用して記録される
- 日々のAdapted PlanでのDICOM RT Planは、Adapted Plan Integrator: API(Jammer)を使用して送信される
 - Sequencer用のRTP形式への変換が行われる

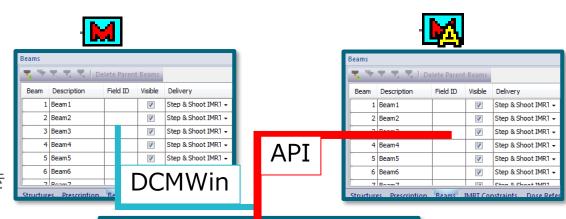




TSM Communication

TSMは、日々のAdapt Planにおいて Session UIDを生成する

- Session UID は、ユーザーがSequencerで[Treat]を クリックすると生成され、TSMがロードされる
- SessionはPlan UIDに関連付けられる
 - Monaco Focal Dataで既存の患者を見つけ、入ってくるMR 画像を仕分けるために使用される
- Daily Plan の承認によりAPI(Jammer)が開始される
 - APIはMOSAIQ データベースに対してUIDをチェックする
 - 一致が見つかると、FieldがDaily Adapt Planによって上書き される







Review



MOSAIQ

- 1. Client
- 2. Sequencer
- 3. DCM
- 4. SQL Server



Plan Transfer

- 1. Reference Plan DICOM transfer via DCM
- 2. Adapted Plan DICOM transfer via API (Jammer)



Thank you

お疲れ様でした。 ご不明点等ございましたらご遠慮なくお問い合わせください。

エレクタ株式会社

プロジェクト統括部 アプリケーションフィジックス

〒108-0023 東京都港区芝浦3-9-1 芝浦ルネサイトタワー7F

ヘルプデスクTEL: 0120-659-043

Mail: SoftwareService-Japan@elekta.com

URL: https://www.elekta.co.jp/

